

市民ニュース

2023年 10、11月

鎌倉市御成町18-10
TEL23-3000 内線2547
メール info@jcp-kamakura.jp



9月議会は、10/3まで行われました。市の財政の「貯金」を示している「財政調整基金」が決算値で約82億円まで増加しているなか、市政の諸課題について建設的な提案をしながら、市民の目線で改善を求めました。また、昨年度予算の決算特別委員会が開催され、市議団からは高野議員が委員に選出され、審査しました。暮らしや市政等に関わるご要望・ご相談等は、各議員までお気軽にお寄せください。



吉岡和江
教育福祉常任委員



高野洋一
建設常任委員



武野裕子
総務常任委員

財政は健全、市民が実感できる暮らし充実の施策を！

財政調整基金は82億円に…積極的な生活支援策を提案 「住民の福祉の維持・増進」の原点に返った市政運営を

来年度からの第9期鎌倉市高齢者保健福祉計画策定の検討が行われています。その中で、介護認定者及び介護認定を受けていない65歳以上の方にアンケートが行われ、「介護が必要になった」原因の三番目に「視覚・聴覚障害」があがっています。

加齢性難聴に 補聴器補助を



難聴が進むと、社会的参加が少なくなり、認知症のリスクも高まると言われています。

補助制度の拡充など 外出支援の充実を

また、計画策定に伴う市のアンケートでは「交通・移動手段」を求める回答が一番多く、158名から寄せられました。「高齢者が外出しやすいよう、交通費補助を充実してほしい」「神社・寺など自然豊かな地域等訪ねたいが、交通費が高く、せめてバス代が無料になるとよい」など切実な声です。

保育園に入れない！の声… 認可保育園の増設など支援を

一般質問で吉岡議員は、玉縄地域にお住まいのお母さんから「来年1月に育児が明け、復帰したいが、保育園に入れない。今のままでは退職せざるを得ない」との訴えがあったことなどを紹介しました。

児童福祉法において、保育を必要とする場合に、保育が必要な児童の保育を行うこと

早めの補聴器使用が大切です。相模原市は補聴器補助事業を行い、「補聴器を使うことで「外出機会が増えた」等の結果が出ています。鎌倉市でも実施するよう求めました。

こうした市民の思いを一般質問で取りあげるとともに、決算特別委員会でも市長に前向きな検討を求めました。具体的には、高齢者の外出支援を充実させるために、現在の「高齢者運転免許証自主返納者等支援事業」を踏まえ、継続的な補助制度等に拡充することを提案しました。

鎌倉体育館・大船体育館は廃止せず、存続を — 公共施設再編計画の見直しを求めて —



鎌倉体育館

老朽化が進む市の公共施設を40年かけて縮小・統廃合する手法で乗り切ろうという「公共施設再編計画」。

具体的問題の一つが深沢地域で整備予定の総合体育館・総合グラウンドです。同整備に伴い、鎌倉体育館・大船体育館・坂ノ下の海浜公園水泳プールを廃止して集約・複合化する計画となっているからです。

市民生活への影響が大きく、廃止対象となる地域との合意が不可欠です。来年度以降、施設利用者へ十分な説明を行うことなどを求めました。

健康保険証廃止の停止・見直しを求める 国への意見書を可決



提案者の吉岡議員

共産党市議団が中心となり、他党派や無所属と共同して議員提案した「紙の健康保険証廃止について停止し、見直しを求める意見書」が多数で可決されました。

9月議会には3団体から紙の健康保険証の存続に関する意見書の提出を求め、教育福祉常任委員会で継続と声があがっていました。



「待機児童数」28人だが、
実際は「保留児童数」229人も

しかし、市には認可保育園を増設する計画がありません。吉岡議員は、廃園した幼稚園の借り上げやベビーシッター補助の新設などを提案。市長は「待機児童の解消は非常に重要な課題。施設整備

や保育士確保策など、様々な手法を組み合わせて取り組んでいる。保育に係るニーズをみきわめながら実効性のある効果的な制度の検討を行っており、早期の実施を目指してまいりたい。」と待機児対策に前向きな答弁をしました。

市の職員がどんどん非正規に!

女性の非正規が増える理由は…

10月に最低賃金が改定されました。神奈川県は1112円になり、市の会計年度任用職員の時給も上がりました。しかし一方で…

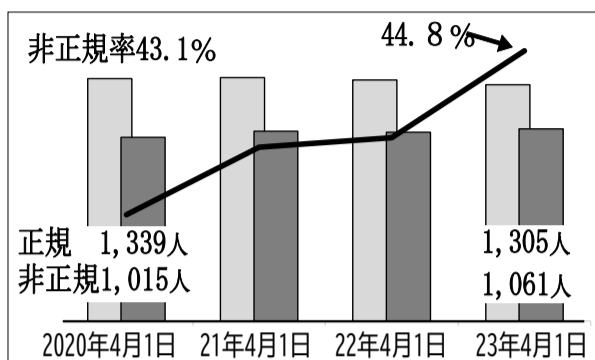
毎年10月の最低賃金の改定で今年の最低賃金が1112円になり、それに伴って鎌倉市の会計年度任用職員の時給が上

がりました。年収が増えると扶養控除の対象とならない場合もあり、そのため去年は勤務時間を減らすという職員もでました。結果人手不足となり新規募集ですます非正規を増やすことになります。

正規職員の女性の数は男性職員数の半分であるのに対し、非正規はその反

対で女性が男性の2倍。圧倒的に女性の非正規職員が多くなっています。専門職を非正規で採用しており、女性の資格者が多いため、おのずと女性の非正規職員が増えていきました。

非正規の多い窓口業務も市民に寄り添った対応が必要で、経験が蓄積できる正規職員をしっかりと採用すべきです。



会計年度任用職員とは 2020年度から導入された制度。自治体の非常勤職員に一時金の支払いを可能とするが、政府の財政措置は確保されていない。鎌倉市は5年は勤務できるとしているが、会計年度単位(1年ごと)で首切り自由の無権利職員が増大する。

どう見る 2022年度 決算

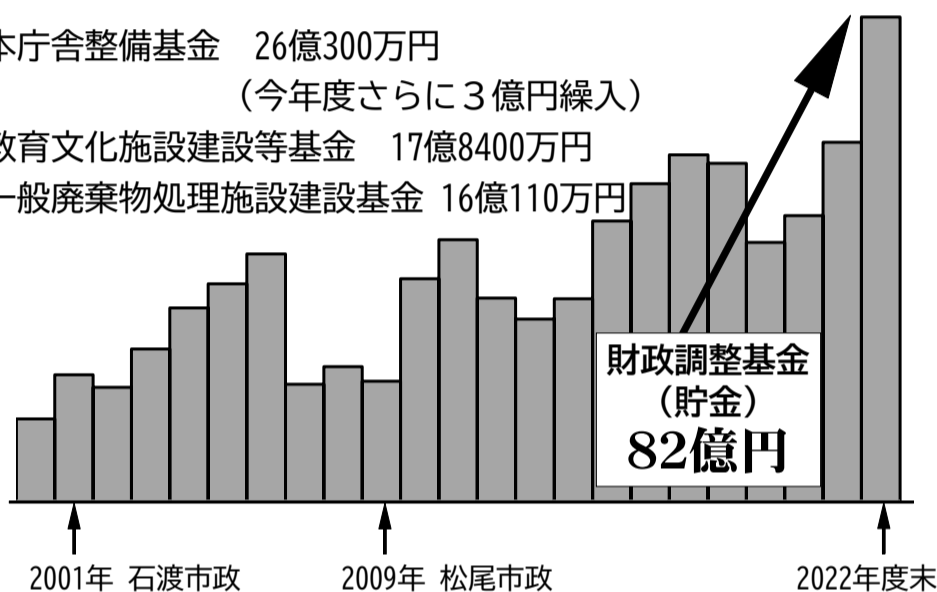
鎌倉市の貯金の適正規模は40億円です。しかし、過去最高額に達し約82億円。財政力指数も県内トップクラス。監査委員の意見はもつともではないでしょうか。

◇監査委員による「鎌倉市各会計決算等審査意見書」(抜粋)

「現預金の増加は事業計画の自由度を高めるという観点からは理にかなうものの、基金・現預金を増やすこと自体が目的化して市民生活の維持向上のための投資が滞ったのでは本末転倒と言わざるを得ない」

●その他おもな基金の2022年度末決算の現在高

- ・本庁舎整備基金 26億300万円 (今年度さらに3億円繰入)
- ・教育文化施設建設等基金 17億8400万円
- ・一般廃棄物処理施設建設基金 16億110万円



市役所1階 おくやみコーナー(仮称)を設置

昨年12月議会で一般質問した(仮称)おくやみコーナーの設置について、12月から1階スペースで行われることになりました。他自治体への設置を報じた新聞報道を受け、市民の方々から市に設置要望もあったと伺いました。今後も一つひとつ取り組んでいきます。

○質問(高野)…家族や親族が亡くなった後にご遺族が行う行政手続きの負担は、医療・介護・国保・年金・税・市民窓口など生活の全分野に及び大変です。いま県内では、ご遺族に寄りそった案内窓口を設置する自治体が増えています。「おくやみコーナー」など、手続きの負担を軽くするための案内窓口を設置したらどうか。

○共生共創部長…「くらしと福祉の相談窓口」での対応が可能かどうかを含め、検討したい。

その後、市として設置場所を検討のうえ、12月から(中途からの可能性あり)の実施に至ったものです。

保護者の要望かなう

民間保育園への使用済み紙おむつ お持ち帰りなし

保護者が持ち帰る保育園の使用済み紙おむつは、鎌倉の公立園では、2年前から園で処理を行っていますが、民間園でも同様の対応ができるよう、施設整備及び処理費に対する補助を行うよう要望が寄せられていました。

◆対象は、認可保育園、認定こども園、地域型保育事業の34施設。

議案の採決結果(定数26)

会派の名称	結果	共産党 3人	自民党 4人	公明党 3人	夢みらい 4人	銀河 2人	ネット 2人	無所属 8人
2022年度鎌倉市一般会計歳入歳出決算	可決	×	○	○	○	○	×	×
鎌倉市廃棄物減量化、資源化及び処理に関する条例の一部改正	可決	×	○	○	○	○	×	⑤
紙の健康保険証廃止について停止し、見直しを求める意見書	採択	○	×	×	×	○	○	⑦

※銀河=銀河鎌倉 自民党=自民党・無所属の会 ネット=神奈川ネットワーク運動
※議長(夢みらい)は採決に加わりません。

事業系一般廃棄物の手数料が1.6倍に!

(植木剪定材は除く)

コロナ禍での売上減と物価上昇、10月からのインボイス制度など経営が厳しい中、事業所が出すごみの手数料が10kgあたり250円を、来年10月から400円に値上げされました。これは県内でも最高額で、ますます事業継続が厳しくなります。

高齢者などの福祉関係事業所の使用済み紙おむつも例外ではありません。新たにごみの福祉減免制度を設けるべきではないでしょうか。